

2015年7月8日

熊本市長 大西一史 様

立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島康
立野ダムによらない白川の治水を考える熊本市議の会 代表 田上辰也
ダムによらない治水・利水を考える県議の会 代表 西 聖一
代表連絡先 熊本市西区島崎4丁目5-13 中島康
電話 090-2505-3880 FAX 096-354-2966

立野ダム問題についての要望書

昨年11月の熊本市長選挙でのご当選、おめでとうございます。市民の負託にこたえる市政が実現されることを期待しております。私どもは白川を安全な川にするために、立野ダムによらない治水対策を求め2012年より活動しております住民団体です。

選挙の際は、立野ダム問題についての公開質問状に丁寧にご回答いただき、誠にありがとうございました。ご回答の中で、「今後、熊本市政について様々な角度から精査・検討する中で、修正等もあり得ることをあらかじめお断り申し上げます」と述べられていることを、高く評価しております。立野ダム事業を様々な角度から精査・検討するためには、事業に疑問を持つ市民の声を十分聞くことが必要だと考えます。

立野ダムは、熊本市中心部を流れる白川の上流、阿蘇外輪山の唯一の切れ目である立野火口瀬に国土交通省が計画した、高さ90mの「穴あきダム」です。立野ダムは洪水調節だけを目的としたダムですが、洪水時にはダム下部に開いた3つの穴（高さ5m×幅5m）が流木などでふさがり、洪水調節不能になるのは明らかです。熊本市の安全を守るどころか、危険をもたらすダム計画です。

阿蘇外輪山が立野で切れたのは、別府島原構造線で外輪山が陥没したからであり、立野ダム予定地周辺には東西方向に多くの断層が走っています。火山地帯に巨大なダムをつくって、大丈夫なのでしょうか。

白川改修・立野ダム建設促進期成会（熊本市、菊陽町、大津町、南阿蘇村）は毎年、白川改修と立野ダムをセットにした促進陳情を国に対し行っています。安全で豊かな白川を未来に手渡すためには、白川の河川改修こそを進めるべきです。白川改修と立野ダムは切り離すべきです。そこで、下記3点について要望します。

記

1. 立野ダム問題に関して、事業に疑問を持つ市民の意見を聞く場を設けていただくこと。
2. 国土交通省に対し、地域住民に対する立野ダム説明会を開催するよう働きかけること。
3. 白川改修と立野ダムは切り離して、白川改修の促進のみを国に陳情すること。

以上